

令和4年度芦別市各会計予算の概要

全会計 191億7,329万円 (対前年度比 8.9%)

一般会計	……	115億4,700万円	(対前年度比 15.6%)
特別会計	……	46億4,083万円	(対前年度比 △1.7%)
企業会計	……	29億8,546万円	(対前年度比 2.7%)

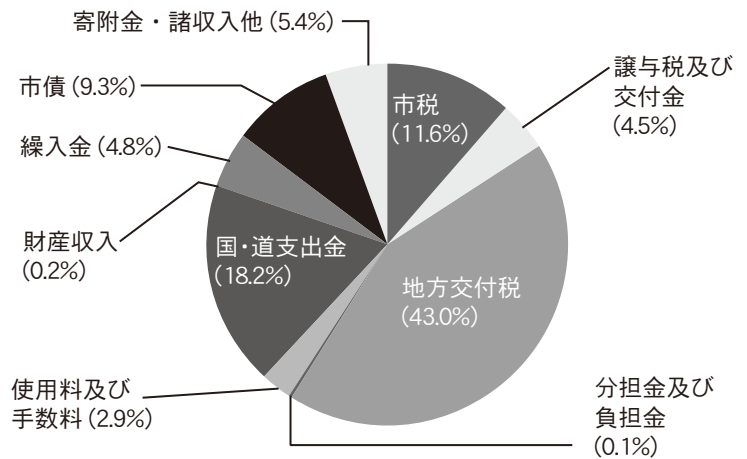
令和4年度の予算は、長引くコロナ禍から、さまざまな施策の推進が停滞せざるを得ない状況が続いたことから、改めて、第6次総合計画に掲げる目指すまちの将来像の現実に向け、さらに一步踏み出す年として捉えながら、引き続き、コロナ感染対策に万全を期すとともに、持続可能なまちづくりのため、市民の福祉増進をはじめ移住・定住や子育て支援施策の拡充等による人口減少対策の推進、行政サービス等のデジタル化への対応、公共施設等の長寿命化対策等に必要の予算を盛り込みました。

■一般会計予算総額 115億4,700万円 (経常費 101億4,581万円 / 事業費 14億119万円)

●歳入の内訳

科目	当初予算額	対前年度比
市税	13億3,517万円	0.2%
譲与税及び交付金	5億3,136万円	8.8%
地方交付税	49億7,000万円	12.0%
分担金及び負担金	838万円	△33.9%
使用料及び手数料	3億4,008万円	△4.6%
国・道支出金	20億9,684万円	18.9%
財産収入	1,876万円	8.3%
繰入金	5億5,168万円	19.8%
市債	10億7,270万円	34.3%
寄附金・諸収入他	6億2,203万円	93.4%
合計	115億4,700万円	15.6%

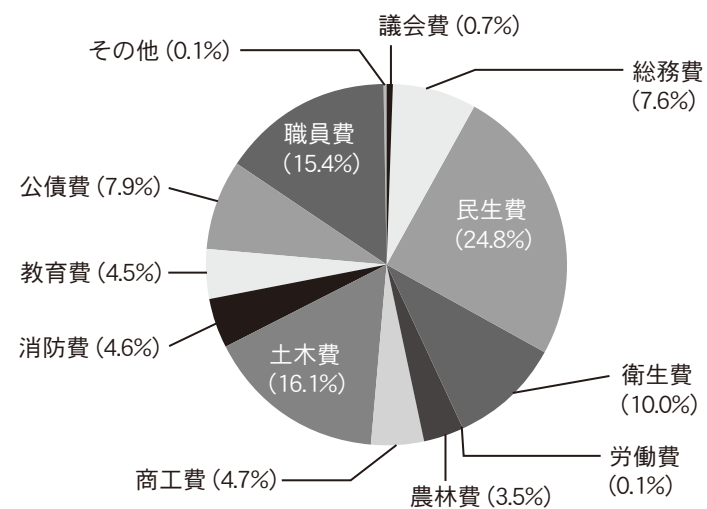
【歳入の構成】 ()内は予算に占める比率



●歳出の内訳

科目	当初予算額	対前年度比
議会費	7,860万円	△1.8%
総務費	8億7,163万円	123.8%
民生費	28億6,813万円	5.4%
衛生費	11億4,843万円	9.6%
労働費	797万円	△35.6%
農林費	4億4,451万円	7.0%
商工費	5億4,733万円	17.5%
土木費	18億6,209万円	52.2%
消防費	5億3,629万円	△0.3%
教育費	5億2,402万円	2.1%
公債費	9億1,547万円	4.0%
職員費	17億7,252万円	2.6%
その他	1,001万円	0.0%
合計	115億4,700万円	15.6%

【歳出の構成】 ()内は予算に占める比率



◎当初予算 (115億4,700万円)

市民1人あたりの予算	1世帯あたりの予算
93万1,285円	161万9,495円

令和4年1月31日現在

- 人口 / 1万2,399人
- 世帯数 / 7,130世帯

■特別会計の内訳

会計名	予算額	前年度対比
奨学資金	3,954万円	△13.9%
国民健康保険	19億7,619万円	△1.0%
下水道事業	5億 707万円	△3.8%
介護保険事業	17億1,826万円	△1.3%
介護サービス事業	1億1,981万円	4.4%
後期高齢者医療	2億7,996万円	△4.5%
合計	46億4,083万円	△1.7%

■企業会計の内訳

会計名	収支区分	予算額	前年度対比	
病院事業	収益的	収入	18億5,433万円	△0.7%
		支出	19億8,425万円	0.3%
	資本的	収入	1億 429万円	58.3%
		支出	1億6,029万円	28.0%
水道事業	収益的	収入	4億3,966万円	△1.5%
		支出	4億2,731万円	△2.1%
	資本的	収入	2億5,622万円	△1.4%
		支出	4億1,361万円	12.9%

●令和4年度の主な事業●

■新型コロナウイルスワクチン接種事業

市内医療機関や関係団体の協力を得ながら、国の接種実施要領に基づき、総合福祉センターでの集団接種と市内医療機関での個別接種を円滑に実施します。

■移住・定住促進事業

国の地域おこし協力隊制度を活用して3名の隊員を採用し、本市のまちづくりや地域産業の担い手と本市に定着できるよう活動支援や更なる増員に向けた募集を行うとともに、首都圏等で開催される移住PR事業への出展等を通じて、移住者誘致に取り組めます。

■公営住宅建替事業

公営住宅等長寿命化計画に基づき、今年度から7年間で「ことぶき団地」の現地建て替えを実施し、全体計画の鉄筋コンクリート2階建3棟32戸と木造平屋建4棟36戸、合わせて計7棟68戸の建て替えのうち、今年度は既存住棟の解体と跡地への2棟20戸の建設を行います。

■コミュニティセンター整備事業

災害時の避難施設として位置付けられている本町地区生活館について、老朽化が著しいため屋上の防水工事及びカーペット等の張り替え整備を行います。

■立地適正化計画策定業務・地域公共交通計画策定事業

コンパクトなまちづくりの推進に向け、都市部への居住と都市機能・商業機能の集約や適切な配置を示す「立地適正化計画」と、地域公共交通会議において地域全体の公共交通機関のありかたを示す「地域公共交通計画」を策定します。

■空き家対策事業

空き家等対策計画に基づき、所有者に対する空き家の維持管理の必要性や活用方法の周知を行うとともに、今年度から著しく危険な空き家等の解体費用に対する一部助成を行い、生活環境の改善を図ります。

■ゴミ処理センター埋立処分場残余容量調査実施事業

ゴミ処理センター埋立処分場の残余量については、平成5年度の共有開始以来、埋立重量の体積換算により残余年数値を計測してきましたが、人口減少や近年の家庭ごみの排出状況などから、実際の残余年数とかい離がある可能性があることから、埋め立て終了年数を正確に把握するため測量を用いた調査を実施します。

■商工業振興対策事業

長期化するコロナ禍の影響により厳しい経営状況が続く飲食業や観光関連産業等の経営の継続と安定のため、関係団体と連携して国や北海道の支援策と合わせて効果的な経済対策を推進します。

■浄水場更新事業

現在の芦別浄水場の老朽化が著しいことから、芦別市浄水場更新基本計画に基づき、令和9年度の更新に向けて、施設及び取水施設基本設計に着手します。

■道の駅整備事業

これまで日よけのために配置していたパラソルテーブルセットについては、強風による破損や経年劣化が著しく今後使用できる状態ではないため、新たに木製（道産材使用）の大型屋根付き休憩スペースを整備します。